



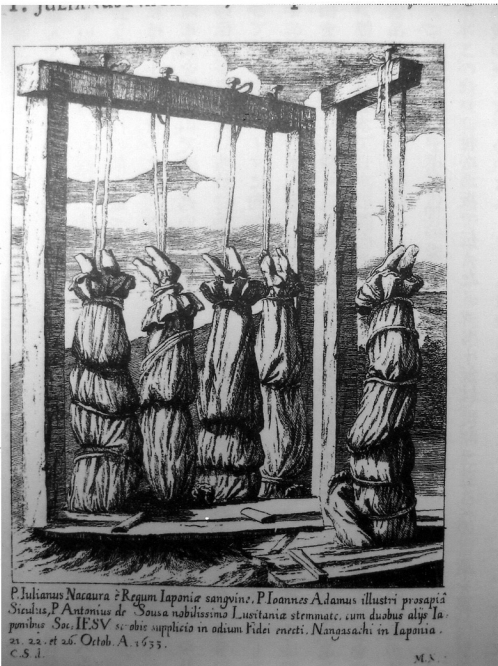
66

少年使節と教皇謁見

長崎を出港してから
三年一カ月後の一五八
五年三月二十三日、天正
謁見した。

遣欧少年使節団はローマ
教皇グレゴリオ十三世に
謁見のイラストを紹介し
た。少年使節団は四人、
しかし、イラストには三
人しかいない。

中浦ジュリアンの殉教「イエズス会の殉教者」から



P. Iuanus Nasaura & Regum Iapanie sanguine. P. Ioannes Adamus illustri proreapia Sicilia, P. Antonius de Sousa nobilissimo Lusitaniae stemmate, cum duobus alijs Japonibus Soc. IESV. die supplicio in odium Fidei erecti. Nangasacki in Iapania. an. 22. et 25. Octob. A. 1633. C.S.J.

一人、中浦ジュリアンは高熱

八十四歳の高年齢だった
教皇は、その数日後突

然、亡くなる。

が責めることができるか。

彼が殉教した力はどこから来たのだろう。「高熱の中浦を教皇はやさ

オ局長

藤屋 侃士
(下松市幸ヶ丘)

で公式謁見に参列して
ないことがわかった。イラ
ストは正しかったのであ
る。
では、中浦ジュリアンは
謁見しなかったのだろうか？

日本キリシタン史の生
き字引き、長崎の二十六
聖人記念館の前館長、結
城神父に尋ねた。
中浦はローマ到着前か
ら三日熱で高熱が続い
た。周囲は長い時間がか
かる謁見は無理だと判
断する。

日本出発から八年四
カ月後、少年使節団は帰
国した。この間にキリス
ト教は禁止されていた。
その後、一人は棄教、
二人は病死。残った中浦
ジュリアンは潜伏司祭と
して十九年間働き、一六
三二年、六十四歳で捕え
られ、翌年、長崎西坂で
穴づりの刑で殉教したの
である。

遠藤周作著「沈黙」の
中に出て来るイエズス会
管区長代理のフレレイラ
神父も中浦と一緒に穴
づりされた。
しかしフレレイラは六
時間後に「転んだ」。
中浦は穴づり開始か
ら三日目に殉教した。
フレレイラ神父をだれ
が責めることができるだ
ろうか。

「日本の教
会」を読んだ
時から、なぜイ
ラストには三
人しかいないの
だろうと思っ
た。

その後使
節団について
調べているう
ち、四人の中
の一人、中浦ジュ
リアンは高熱

「このあとの公式謁見に
も出席したい」と言った
が、教皇は彼を抱き寄
せ、無理をしてはいけな
いと諭し、彼もそれに従
ったという。

刀で首を切つて殺すの
なら、喜んで殉教したに
違いない。
内臓が下がってすぐに
死なないように縄できつ
くぐるぐる巻きにし、ば
り、三丁の穴の中に逆さ
につるす。半殺しの状態
で転ばせようとしたので
ある。

きつと、そこに神を感
じ、それが信仰の力とな
ったに違いない。
だれにでもある、いろい
ろな体験、それを識別
し、他者と分かち合う中
で人は成長するようにな
る。
今回、列福される百八
十八人の日本の殉教者、
その中にももちろん彼の
名前があった。
（元山口放送取締役ラジ
オ局長

中浦の出生地、長崎県西海市の銅像
——左手でローマを指している



中浦ジュリアン出生の地

昭和49年4月29日 長崎県指定史跡

中浦ジュリアン記念公園は、平成13年12月西海市
中浦南郷のジュリアン出生の地に完成しました。資料
展示室は、独特な手法によるモルタルレリーフ彩色
壁画で生い立ちから殉教に至るまでのジュリアンの運
命に思いを馳せ、心を通わせ、ヨーロッパ各地をはじめ